



安心とつるおの下の野三の手をさめて

防災 まがてら瓦版

発行の寺言問を防災のまがてらする会

昭和63年6月1日

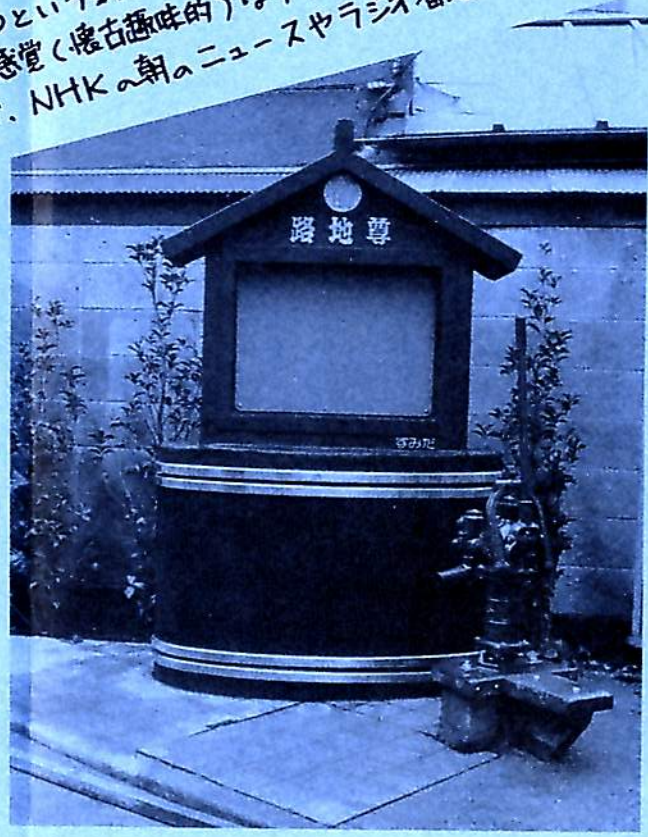
3月30日に、現地で路地尊完成式典がおこなわれました。除幕式の後、屋根にホースで「雨」を降らせてタンクに注水。墨田区緑化係提供の苗木を植樹し、タンクの水を手押しポンプでくみあげて、水をやりました。



雨水利用

路地尊が完成した

路地尊のことは、皆さんすでにご存じでしょう。防災機能を備えた一寺言問のオリジナル屋外家具です。路地の安全を守るシンボルであることから、路地尊と名付けられました。
先日(3月30日)、同島五丁目に第2号の路地尊が完成しました。今度の路地尊は、地下のタンクに雨水をためるといった新しい試みとなっています。手押しポンプも付き、なんとなくレトロ感(懐古趣味的)なデザインです。全国的にもめずらしい装置だということで、NHKの朝のニュースやラジオ番組でも取りあげられ話題になりました。



むかし、街のあちこちに天水槽があって、火事の初期着火用水として、屋根に降った雨水をためていました。普段はその水を植木や道にまいて使っていました。雨水利用の発想はそこから生まれました。
路地尊の地下には、耐震性の貯水タンク(3トン入)を埋めています。屋根に降った水は雨樋を伝わり、路地尊にはいり、浄化されてタンクにはいります。水量は路地尊の後ろについた目盛計でわかるようになっています。タンクの水は手押しポンプでくみ上げられます。路地尊の収納庫(裏手)には、バケツやホウキ、ジョウロがはいっています。掲示板もついています。



募集

各地に路地尊を設置していく予定です。設置場所を探しています。いい土地がありましたら、ご一報下さい。連絡先は、一言会事務局 (tel 626-3151 内655)まで。

